



2018年10月31日

各 位

会社名 都築電気株式会社
 代表者 代表取締役社長 江森 勲
 (コード番号 8157 東証第2部)
 問合せ先 執行役員財務経理統括部長 石丸 雅彦
 (TEL 03-6833-7704)

2019年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2018年5月11日に公表しました2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異 (2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,000	200	150	40	2.34
実績値 (B)	50,950	359	456	317	18.52
増 減 額 (B-A)	950	159	306	277	—
増 減 率 (%)	1.9%	79.9%	204.1%	693.4%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	48,930	131	127	△16	△1.13

2. 差異が生じた理由

売上高につきましては、情報ネットワークソリューションサービス事業において、システム運用サービスやLCMサービスが堅調に推移したことや、大規模ネットワーク構築商談が伸長したことから予想を上回る結果となりました。

営業利益につきましては、大規模ネットワーク構築商談が見込通り計上できたこと、システム開発の効率化を推し進め利益を確保できたこと、また、電子デバイス部門での商品ラインアップの拡充に加えて、比較的収益性の高い案件が寄与したこと等により、収益拡大に繋がりました。

また、上記に加え投資有価証券を売却し、売却益を特別利益に116百万円計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても大きく予想を上回りました。

なお、通期業績予想につきましては現時点において変更ございません。

(注) 通期の業績予想につきましては、当資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、実際の業績は今後の様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。

以上